

研修協力誓約書・承諾書の記載方法

<研修協力誓約書・承諾書の位置づけ>

認知症介護実践者研修（以下、研修）は、講義で学んだ内容について、実際の認知症の人の状況を振り返って学びを深めることや、自施設実習（以下、実習）の中で認知症の人を対象に、情報収集から分析・ケア実践の提供までを行う事で学びを深めていきます。よって研修の講義・実習には、認知症の人ご本人の協力が欠かせません。

受講生が認知症の人ご本人に対して、研修の目的について説明し、注意事項を遵守することを誓約する書類として『研修協力誓約書』があり、認知症の人に協力を承諾していただくための書類として『研修協力承諾書』があります。

<研修の中でご協力いただく『認知症の人』とは>

認知症の症状があり、受講生が支援について悩んでいる方や、より良い支援を検討したい方です。

<研修協力誓約書・承諾書作成の流れ（研修初日までに実施しておく内容）>

- ①受講生が所属する事業所を利用されている方で、研修にご協力いただく認知症の人（以下、協力者）2名を決め、事業所の上司等に承諾を得ておく。
- ②協力者2名それぞれに説明するため、研修協力誓約書・承諾書は各2部（合計4枚）を印刷し、下記③～⑦の手順で2名分作成する。
- ③研修協力誓約書の上部下線空欄内（『____さんには、研修に…』の下線部）に、協力者の氏名を記載し、下部に誓約日・受講生所属事業所名・受講生氏名を記載する。
- ④研修協力承諾書の上部下線空欄内（『私は…____さんの…』の下線部）に、受講生氏名を記載する。
- ⑤協力者に研修協力誓約書を使って研修の説明を行い、協力を依頼する。その際に、明らかに拒否の意思表示をされた方については協力者とせず、代わりとなる他の方を検討する。一度の説明で協力者の意思確認をすることが難しい場合は、複数回説明を実施して判断する。
- ⑥協力の同意が得られた方については、研修協力承諾書に住所・氏名を記載していただく。自筆が困難な場合は代筆も可とするが、代筆の場合は代筆者の氏名を明記する。
- ⑦協力者の主たる介護者（ご家族等）にも、研修について説明し、研修協力承諾書に氏名と続柄を記載していただく。
- ⑧研修協力誓約書は、協力者または協力者の主たる介護者に渡す。
- ⑨研修協力承諾書は、受講生が保管する。

<注意事項>

- 協力者の意思や気持ちに十分配慮しながら、協力をお願いするようにしてください。
- 研修協力誓約書・承諾書の作成過程においても、事業所の上司等に相談を行いながら、個人情報の保護や協力者の権利に配慮してください。
- 実習で情報収集から分析・ケア実践の提供までを行うのは、協力者2名の内1名のみです。

研修協力誓約書

<受講生記入用>

私は、認知症介護実践者研修において、_____さんには、研修に関するご協力および情報のご提供にあたり、以下のことを遵守し、また、研修後においても同様に遵守することを誓約いたします。

1. この研修は、認知症の人やその家族の生活の質の向上を図る対応や技術を習得することが目的ですので、それと関係しないことは実施しません。
2. 研修で得た情報は、研修以外の目的には使用しません。
3. 研修で得た情報をもとに、グループ討議を行いますが、その際に使用する文書には、個人名や個人が特定できる内容は記載しません。
4. 私が知りたいことであっても、あなたの意にそわないことは聞きません。
5. 研修で、あなたに不利益になるようなことはいたしません。

誓約日 _____年 _____月 _____日

受講生所属事業所名 _____

受講生氏名 _____

研修協力承諾書

<協力者記入用>

私は、認知症介護実践者研修において、_____さんの「研修協力誓約書」
を受理し、研修に関する協力および情報提供することを承諾します。

承諾日 _____年 _____月 _____日

協力者住所 _____

協力者氏名 _____

協力者の主たる介護者氏名 _____ (続柄)